

わかやまの健全な森林育成プロジェクト

現状・課題

- 和歌山県は県土の 8 割を森林が占める「木の国」
- その森林は生物多様性や土砂災害防止、水源かん養、安らぎの提供など、県民生活に多様な生態系サービスを提供
- 人口減少などにより森林の利用が減少し、多様な機能を発揮出来ない森林が多数存在
- また、管理の行き届いていない森林から花粉飛散が拡大し、花粉症罹患者が増加
- 適切な森林整備を行い、県民が親しめる多様で健全な森林の育成が必要

取り組み

- 植林・間伐などの森林整備を行い、多様で健全な森林を育成
- 樹を植え、新たな森林を造るために必要な苗木や種子を生産
- 花粉を出さないスギやヒノキの開発と種子の生産
- 森林に触れ、森林に親しむ施設などの整備と管理

親しみのある豊かで健全な森林を次の世代に



〈人と森林の共存〉



〈管理された森林〉



〈苗木の育成〉

寄付金の使途

- 森林環境保全整備事業
- 優良種苗育成事業
- 県有林経営管理事業
- 森林病虫害等防除事業 など